



●本日の司会

(曳地 義正副SAA)



●開会点鐘

(佐々木 稔郎会長)

●ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

●会務報告

(佐々木 稔郎会長)



今日は、私が日頃心掛けていることをお話したいと思います。それは、色々なことに対してアンテナを立てるということです。宗教のひとつに密教がありますが、秘密にしている宗教ということで、分からないことが多く色々調べてみました。例えば、体操の選

手にいきなり高度な技術を教えると、骨折してしまいます。それと同じように宗教も、相手のレベルにに応じて、段階的に悟りを教えていくのだそうです。それを初めから悟りを教えてしまい、秘密にしておくので、密教というのだそうです。皆さんの会社でも、従業員に下のほうから技術を少しずつ教えていくのではないかと思います。それも何か宗教と通じることがあるかもしれません。

話は変わりますが、お腹が空くと自然とラーメン屋の看板などが目につきます。それは、心がお腹が空いたので食堂を探そうという意識が働くからです。周りには、色々な情報が溢れています。その中でアンテナを張らなければ、情報は入ってきません。NHK は電波を流していますが、スイッチを入れないと見ることが出来ません。教えを受け止めようという心掛けをして、アンテナを立てて訓練をするという意味で、自分の心の受信機のパフォーマンスを上げようと努力しています。

●幹事報告

(岡野 景子幹事)



9月14日(木)第1回親睦委員会炉辺会議が行われました。鈴木親睦委員長、オブザーバーを始め15名の出席となりました。

9月27日(木)ガバナー公式訪問がございます。26日(水)は振替休会となっておりますので、お間違えのないようお願いいたします。

10月3日(水)は昭島ロータリークラブとの合同例会です。2週連続となりますが、よろしくようお願いいたします。

本日の例会終了後、理事会を開催いたしますので、理事の方々はご出席をお願いいたします。

「第86回多摩中グループ親睦ゴルフ大会開催の御案内」が届いております。参加希望の方は内藤ゴルフ部部长まで、お知らせください。

開催日：2018年11月8日(木)  
会場：青梅ゴルフ倶楽部

地区より「平成30年北海道地震義捐金」についてお知らせが届いております。こちらは、本日の理事会で協議の上、皆様にお知らせいたしますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

多摩中グループ各クラブより、例会変更のお知らせが届いております。メイクアップをご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

●新会員 卓話「私の履歴書」

鈴木 治六新会員



皆さんこんばんは。鈴木治六と申します。自己紹介、私の履歴書を掻い摘んでお話をいたします。私の父の出身地は山形県鶴岡市です。私が生まれて間もなく、父は大阪で「聾啞学校」の教師をしていました。当時の先生の給与は、「米」一俵にも満たなかったそうです。

その後、父の友人が山梨県の教育委員会にいた関係で、又戦後子供が多い時代に教師が足りないということで、父は中学校の英語の教師に、高等女学校を出ていた母は、小

学校の教師になり、2人で働いて何とか生活が出来るようになったそうです。

父はいつも、「お前は五体満足で本当に良かったなあ。聾啞学校の生徒達は目が見えない、耳が聞こえない、言葉が話せない。子供達を毎日指導していると、つくづく健康の大切さが良く分かる。そして健康には、身体と精神の健康がある。お前は心身共に健康を大切に生きるのだよ。」とよく言われました。

私が高校に入る頃、高尾駅（昔は浅川駅）の近くに小さな家を購入して、私は高校へ、父と母は山梨の学校に通っておりました。そんな時、近くに住んでいた同級生達と出会い、特に気の合った友達（ポン友）に八王子の空手道場（謙交塾）誘われました。又、しばらくしてから1つ年上の中野勝夫さんに会いました。その頃、私のポン友は黒帯、中野さんも黒帯、中野さんは古武道にも精通しておりました。私はタダの白帯でした。私のポン友仲間には、とんでもなく恐ろしく強い宮崎さんという黒帯がいました。おそらく道場で1番強かったと思います。私はいつも中野さん達に、上には上がいるから気を付けろよとよく言われました。又、練習試合で肋骨が折れたこともありました。入院した時、多くの仲間が見舞いに来てくれました。

無事、高校を卒業し、ポン友は中央大学に、私は東洋大学に入りました。中野さんはアメリカに留学いたしました。とんでもなく恐ろしいほど強い宮崎さんはアメリカに渡り、空手道場を開きました。宮崎さんが帰国した時によく言っていた言葉があります。「オイ、鈴木、アメリカ人はでかいぞ。カもある。そいつらを一撃で倒さないとナメラレル。」宮崎さんは大男達を一撃で倒し、アメリカで空前の空手ブームを引き起こしました。宮崎さんは、当時ブルースリー出演の「燃えよドラゴン」の映画の格闘技の指導も担当しておりました。

私は大学に入ってから、ボクシング部の先輩から入部を勧められましたが、顔が崩れたり、鼻が曲がったり、べちゃんこになるのを嫌い断り続けました。当時は、あまり知られていなかった「ヨット部」が、大学になかったことや、海の魅力に魅せられて、横浜、大阪、奈良県出身の友人達とヨット部を創設いたしました。ヨット部の仲間は全国におります。大学とヨット部を卒業してからは、仲間達は、家業を引き継いだり、地方議員になったり様々です。なかには、日本青年会議所に所属している仲間がいて、よく大阪や奈良に遊びに行ったものです。奈良県（自民党）の県会議長を務めていた友人のお父さんの選挙応援、選挙演説に駆け付けたこともありました。今でも懐かしく思います。

大学卒業と同時に東京出身ということもあり、ヨット部OB会の会長を20年間務めました。大学を卒業してから、株式会社松竹（映画会社）に入社いたしました。たまたま竹脇昌作さんの息子（3男）で俳優の竹脇無我ちゃんは、青山学院大学のヨット部に所属しておりました。お父さんの昌作さんが青学のヨット部の創設者でした。竹脇無我ちゃんとは、「青学」、「東洋」とのヨットの合同練習をしたこともありました。彼は同級生でしたが、歳は1つ上でした。私は、松竹に入社する時に、ヨット部創設者と書いていました。入社してからしばらくすると、人事部から突然、ヨットをやっていたのならヨットのシーンの吹き替えをやってもらえないかと言われました。当時、竹脇無我ちゃんは、松竹のスター俳優で、キラキラと輝いていました。又、いつもスケジュールがいっぱいなので、断る術もなく映画に引っ張り出されました。その後は、映画やテレビにと数えきれない程たくさんの思い出が出来ました。

それから、田中角栄総理大臣の「日本列島改造論」がブームを呼び、その後、レジャー産業界に転身いたしました。昭和55年7月7日小さな会社を立ち上げ、ゴルフ会員権取引業の仕事を始めました。当時アメリカニューヨークの「プラザホテル」で日本、アメリカ、イギリス、フランス、西ドイツの5ヶ国でドル高の是正で合意してから、しばらくするとバブル経済が発生いたしました。これが世に言う「プラザ合意」です。ゴルフ会員権、土地、株式あらゆる投資物件が急騰いたしました。小金井CCが5億円、桜ヶ丘CC、府中CC狭山GCが1億3千万円、立川国際CCが4千6百万円など飛びように売れていきました。昭和63年12月29日日経平均株価は38,957円でした。毎年、税務署員が2人でやってきて、追徴課税をニコニコしながら計算して税金を支払わされました。平成に入ってから、三重野日銀総裁の金融引き締めにより、全ての市場からお金を吸い上げ、お金を貸し出さなくしてしまいました。そこからバブル崩壊が始まり、日本経済の失われた20年が始まりました。長い長い冬の時代が終わり、近年は株価等の上昇により、昨年の秋頃からゴルフ界に人気の高いゴルフ会員権が値上がりしております。小金井CC、東京よみうり、桜ヶ丘、八王子よみうりGなど首都圏のゴルフ場が約40パーセント値上がりしました。特に小金井CCだけは、名義書換をしないで「株」登録が無料ででき、そのまま何年でも保有が可能となっております。

昭和59年友人から昭島青年経営者クラブに誘われて入会いたしました。星野宗保先輩から、AIJは勉強の場であり、それぞれの立場を勉強する「道場」だとよく言われました。今でも忘れておりません。又、村野静男先輩は、25年以上例会に1度も休むことなく出席を続けておりました。昭和60年春、西東京異業種交流会（TDR）が立川JCの中川務さん、AIJの川内貞夫さんがTDRを設立するので参加のお誘いを受け加入いたしました。今年は30年を迎えております。しばらくすると、昭島に2つ目のロータリークラブを設立すること、設立準備委員会のAIJの先輩方から、君もチャーターメンバーとして参加しないかとお誘いを受け、「ハイ」と返事をいたしました。先輩から話があったら、どんな役でも引き受けること、こうしてチャーターメンバーとしてスタートいたしました。バブル崩壊が続き、激動の20年でした。村野先輩のように100パーセント出席が出来なくなり、自分的には退会ではなく休会のつもりでした。

あれから19年経ち、今、昭島中央ロータリークラブに戻ってまいりました。私の現在の仕事は、ゴルフ会員権取引コンサル業務が約50パーセントです。又、近い将来を見据えて、高齢社会に対応する、国内はもとより国際特許取得済のバイ菌から身体をガードする、ウイルス感染予防「エアークセス」の販売権を取得いたしました。YouTube動画で、エアネスで検索してみてください。このメディカル事業が50パーセントです。

最後になりますが、星野宗保創立会長がよく話していたこと、それは、1番まず健康であり、家庭がうまくいっていること、2番目は会社がうまくいっていること、きちんと利益を上げていること、3番目は、1と2がうまくいって初めて奉仕活動、つまり「世」のため「人」のためにお返しすること。この言葉は私の脳裏から離れませんでした。拙い私のお話をお聞きくださいまして、誠にありがとうございました。最後に皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。本日はありがとうございました。

## 成田 篤史新会員



はじめまして。只今ご紹介に与りました成田篤史と申します。今期から栄誉ある東京昭島中央ロータリークラブの末席に加入させていただきます、誠に光栄でございます。微力ながら当会の活動に貢献すべく邁進する所存でございます。右も左も判らぬ新参者でございます

ので、皆様には多々お世話になります。ご指導のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、初めての卓話ということで、皆様のお役に立てるような見識も持ち合わせておりませんので、まずは私のこれまでの来歴でもお話しさせていただこうかと思います。私は秋田県は現在の北秋田市、二ツ井町の生まれです。昭和5年生まれ。父は当地で土建業を営んでおりました。昔の田舎の家らしく、毎晩のようにお客や職人衆を集めては酒や料理が振舞われておりました。一晩に一升瓶が何ケースも空になるほどのもてなしでしたので、お手伝いのおばあさんもおりましたが、母も苦勞したようであります。また、当時父が接待だと言ってゴルフに行っては夜遅くに帰って来るので、「よくこんなに暗くてボールが見えること」と厭味を言っていたというのが今でも語られる思い出のようです。

幼少期はそんな家で何不自由なく過ごした私でございますが、ちょうど思春期にさしかかる頃、転機が訪れます。公共事業を収益の柱としていた父の会社が、大きく傾くことになるのです。昔のことですから、公共事業の受注のためには町長さんとの癒着があったわけですが、時代の変遷もあり、ついにその町長の代替わりとともに一気に傾いたというわけです。そのまま会社は倒産、まさに着の身着のまま、夜逃げというものを経験します。夜中、ワゴン車に布団だけを積み込んで、親戚の家に向かったことを覚えています。住んでいた大きな家も、今は他人のものとなっています。

そんな中で私は鷹巣中学から能代工業高校に進学、寮生活に入りました。当時は80年代バンドブーム、ご多分に漏れず音楽で身を立てることへの憧れ、東京への憧れを募らせていきます。そして16才の冬、ついに1人東京を目指します。これは家出でしたので、母親にも随分心配をかけたと思います。まずは横浜の先輩のところへ頼りますがこのときはしばらくして見つかり家に帰されます。その後親との話もつけ、東京にいた親戚の紹介で、建設会社で住み込みで働くことになりました。この時期のことが私の原点になっているように思います。若さもあり、昼夜続けてがむしゃらに働きました。住んでいたのはいわゆるタコ部屋という大部屋です。まさに「立って半畳寝て一畳」という具合で、自分の布団を敷くほどのスペースがあり、その脇のビールケースを2段に積んだ棚が自分の荷物を置く所です。季節労働者や外国からの出稼ぎ労働者と共に寝起きした日々でした。仕事は道路工事で、下水まみれになりながら、同じ建設業でも格好の良いニッカボッカの大工さんが羨ましかったものであります。しかし、スコップで砂利を撒くのも一振りで上手に均一に撒く人、重機の操作でも駅前商店街のアーケード内の電線や看板を巧みに避けながら猛スピードで作業をする人…工事現場の仕事の中に、生活を支える尊い仕事があることを体感した10代でありました。その他にも仮設大工やミシン工場のアルバイトなど、色々な経験をしました。

21歳で1度目の結婚、90年代後半、景気も低迷し、当初のように働く程稼げない時代になっていました。このときの家族の言葉で、26歳、葬儀業界の門戸を叩きます。

当時小金井市前原町に住んでおりましたので近隣の葬儀社と、たまたま求人があった日野市の葬儀社との面接を受け、日野市の会社に採用されたことから、この地域とのご縁になっております。下水まみれになっていた私ですから、汚れ仕事でも何でもやりますという思いで、入っていった仕事でありました。思えばこの会社との相性が良かったのでしょうか、当時まだ葬儀といえば自宅葬も多く、仮ごしらえの会場で大人数を迎えるという大道具屋としての役割も大きかった時代です。現場の仕事で培った部分を、昔気質の社長に買ってもらったように思います。31歳のとき、隣の立川市にて独立、当会に紹介していただいた若杉司さんをはじめ、たくさんの方々の地元の方々にお世話になり、今に至ります。最初は間借りの一室で始め、事務所を借り、初めての融資は運転資金の300万でしたが、それを受けるのも大変な緊張をしたのを覚えています。1人2人ではありますが他人を雇った時には給料を支払うためにバイクを売ったり、車を売ったりしたこともありました。

なんとか現在までたどり着けましたのにはひとつのまた偶然の出会いがあります。アメリカの実家で葬儀社を営む、ジョンキャム氏との出会いです。彼は私と同じ年なのですが、日本への留学経験があり、日本の葬儀業界の料金の不透明さは、アメリカの10年前と同じであり、そこに商機があると、日本での事業展開を考えていたのです。そこでパートナーを探していたところに、たまたま知人の紹介で出会ったのが、2003年のことでありました。葬儀について話すことをタブーとせず、事前に見積りを取ったり、意向を伝えておくなどのいわゆる「生前予約」という言葉を持ち込み、「業界の黒船」として新聞やテレビにも取り上げられ話題となりました。本国では「生前契約」と云って契約の固らしく厳密なものだそうですが、日本ではやはり実質「生前相談」程度のもものとなりますが、やはり葬儀について、特にその予算について、事前に口にするこのタブーを破った点では、当時求められていたところに、ちょうど入っていったのではないかと思います。その日本での展開において、実際の葬儀は日本式で行いますし、日本人的な感情もありますので、当社がパートナーとして現場の施行を担当しています。

一介の地域の葬儀社としてはなかなか出会えないような、大学の先生とか、珍しい経歴をもった方や、芸能人、本当に都会的な死生観を持った方などいろいろなお客様に出会えました。中でも映画監督の今村昌平さんの葬儀をお手伝いさせていただいたことは生涯の思い出です。息子さんと同じくらいの年頃で馬が合い、今でもお客様を紹介してくれます。当時使用していた寝台車が黒塗りではなく、普通の乗用車のような茶色の車でしたので、それで病院へ向かったところ、息子さんも「これはいいや」と目立たなくていいやということで、自宅周辺に詰めかけていた報道陣をまいて立川へいったんお連れしたりもしました。葬儀は本人の強い希望で代々幡斎場で行われました。人数的にとっても入りきらないのは判っていましたから、代々幡斎場から厳しいお説教を受けるのが私の役目でもございました。映画関係者や芸能人が集まり、受付のお手伝い説明をするのに手をたたいて「ハイ！スタート！」といわれたときは業界関係者になった気分でした。あとは海外で死亡された日本人の国際搬送のため、シアトルやデンバー・ポートランド・ロサンゼルス等の領事館などに入入りさせてもらったこともまた貴重な経験でした。

余談でございましたが、ともかくも、葬儀について特に深く考えるお客様が多く、葬儀について考えることを通して、死や生について考えることにもつながり、また様々



な要望、考え方に触れ、それを実現していく中で、私としても勉強になったと思っております。その流れで当社でも生前のご相談の受付に力をいれております。

2011年、縁あって立川市羽衣町に現在の式場を構えることができ、2014年にははごろもホールを建築することもできました。現在経営の局面はまた違った段階にきており、今まで知らなかったような苦勞を皆様と共有するところでありますが、皆様のお力添えのもと、より良い企業になっていけるよう努力して参りたいと存じます。以上、簡単ですが今回の卓話に替えて自己紹介をさせていただきました。当会での様々な奉仕活動や出会いを通じて、また卓話をできるような経験を積んで参りたいと思っております。ありがとうございました。

## ●ニコニコBOX発表 (中澤 紀之親睦委員)



○佐々木会長

鈴木洽六さん、成田篤史さん、卓話ありがとうございます。これから楽しくやりましょう。

・岡野幹事

鈴木洽六会員、成田篤史会員、本日は卓話ありがとうございました。

・荒川会員

鈴木洽六さん、成田篤史さん、卓話ありがとうございます。

・今藤会員

鈴木洽六会員、成田篤史会員、卓話ありがとうございました。今後共よろしく願いいたします。

・岩本会員

鈴木洽六会員、成田篤史会員、卓話よろしくお願ひします。指田会員オメデトウございます。

・志賀会員

鈴木洽六さん、成田篤史さん、卓話ありがとうございます。

・鈴木栄会員

成田篤史様、鈴木洽六様、本日の卓話楽しみにしています。

・田畑会員

鈴木洽六さん、成田篤史さん、卓話よかったです。

・若杉会員

鈴木洽六さん、成田篤史さん、卓話ありがとうございます。

## ●出席報告 (志賀 義任出席委員長)



会員数	48名
出席義務会員	47名
本日の出席	32名

(メイクによる出席者数を除く)

## ●委員会報告 (石田 尚久会計)



先週の会計報告の際、財産目録がお配りできずに申し訳ございませんでした。本日、皆様のレターボックスに配布いたしましたので、ご確認をよろしくお願いいたします。

## ●次週例会予定 (今藤 貫徳プログラム委員長)



9月26日(水)  
振替休会

9月27日(木)  
ガバナー公式訪問・合同例会

## ●閉会点鐘 (佐々木 稔郎会長)